

Weekly Report

会 長 松澤 須美子
幹 事 鳴海 寿裕

国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリー
第2790地区ガバナー 寺島 哲生
第3分区Aガバナー補佐 宮本 和夫

会 長 挨拶

松澤 須美子 会長



皆様こんにちは

今日は台風一過で久しぶりにお天気に恵まれ、秋晴れの一日でした。この週末は、2週連続の台風が関東地方を直撃致しましたが、皆様方におかれましては被害の方はなかったでしょうか。

さて、本日の卓話は、「子ども・子育て支援新制度」について穴倉PPをお願い致しました。

平成27年4月にスタートしました「子ども・子育て支援新制度」は幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進める制度です。

この新制度の実施のために、消費税率引き上げによる増税分活用されます。貴重な財源を活かして、社会全体で子どもの育ち、子育てを支えます。現在、子供の数が減少しており、親だけではなく世の中の人々が皆で支え合い、育て合いながら見守って行かなければならない状況にあります。

後程、穴倉PPより卓話を通して、新制度についての

お話を伺えますのでよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

鳴海 寿裕 幹事



◇ 11月27～28日五福RC訪問のプログラムよろしくご参加ください。参加できる方は回覧に○をつけてください。

会 員 卓 話

穴倉 壽夫 会員
子ども子育て支援制度について



11月1日から千葉市内の私立幼稚園は平成30年入園

児の受付を開始します。

皆さんは、若いころお子さんの入園で苦労されたことがあったのではないかと思います。

現在でも、政府が待機児童問題を解消しようとしていますが、待機児童をゼロにすることは困難ではないかと思います。人の移動には制限が加えられません。利便性の高いところに人々は住みます。そこに待機児童問題が潜んでいるといえます。

さて、子ども子育て支援制度は平成27年4月から始まりました。この制度により、こどもが健やかに成長できる社会の実現を目指して、子どもを預ける場の確保策が設けられました。以前は、幼稚園や保育所(園)に子どもを通わせたり、預けたりしていましたが、認定こども園や地域型保育事業を加えたことで、きめ細やかな子育ての環境が設けられることとなりました。

みつわ台幼稚園は、この4月から幼稚園型認定こども園に移行しました。幼稚園という形は変えないまま、保育機能を合わせ持つ施設という位置づけです。認定こども園にはいくつかの形態があります。幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型といった類型です。

共通するのは、教育と保育を兼ね備えているところです。

認定こども園では、市町村が公定価格を定めてその給付を保護者にします。当然、保護者負担が所得に応じてあります。幼稚園型の場合は、保護者への給付を幼稚園が市町村から代理で受けとるという仕組みとなっています。また、保護者負担は従来どおり幼稚園に直接支払うこととなります。保育所型では保護者負担を保育園ではなく直接市町村へ支払うこととなっています。今まで幼稚園や保育園であつたものがこ

の新制度に移行した場合、従来の仕組みをできるだけ維持していくという施策となっています。

幼稚園では、11月に教育だけを受ける子ども(1号認定)を従来と同様に受け付けています。保護者が働いている場合で、幼稚園型認定こども園に入れたい子ども(2号認定)については、市町村の窓口に申し込みます。従ってこの時点では幼稚園の場合、園児数はほぼ確定するのですが、幼稚園型認定こども園では2号認定の子どもの名前や数は2月ごろにならないと確定しません。

認定こども園は千葉市内では平成30年度で約30施設になります。まだまだ、普及が進んでいません。全国的には幼稚園の35%が認定こども園に移行していますので、今後、徐々に市内の幼稚園が認定こども園に移行していくものと考えています。



七海会員

今月もあと2ヶ月あまりです。

ハロウィン、運動会、収穫祭、クリスマスと続きます。ずーと走りっぱなしです。

鳴海会員

高雄五福ロータリークラブと合同職業奉仕ツアー下見に銚子、成田に行ってきました。

松澤会長

穴倉PP、本日は卓話ありがとうございました。

合計 20,000円

累計 463,000円

創立：1991年1月21日
認証：1991年3月6日
例会場：ホテルニューオータニ幕張
点鐘：毎月曜日 18:30

事務局：千葉市稲毛区穴川3-5-27 上総ビル 303
TEL：043(251)2790 FAX：043(251)2726
Email：chiba-higashi_rc@jazz.odn.ne.jp
URL：<http://www.chiba-higashi.jp/>

発行 千葉東ロータリークラブ 会報委員会 藤本 俊哉